

授業科目名	成人看護学実習（慢性期・回復期・終末期）(2300404)		
時間割名	成人看護学実習（慢性期・回復期・終末期(70224)		
時間割担当	松浦純平		
実施期	後期	単位数	3 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

学内で学んだ知識・技術及び基礎看護学実習で習得した看護援助を基に、生涯にわたり自己管理を必要とする慢性疾患患者あるいは終末期の患者を受け持ち、看護過程を展開することによって、患者および家族の看護上の問題を把握し、適切な看護が実践できる能力を養う。また、患者・家族の生活の特徴を把握し、対象者の生活に適応する指導計画を立案することができる能力をも養う。

学習の到達目標

1. 慢性期にある患者および家族の特徴を理解し、看護の必要性を判断する。
2. 慢性期にある人の健康障害に応じた援助を行う。
3. 身体機能の変化や喪失に伴う心身の状態を理解し、患者・家族のセルフケアや病気のマネジメント能力を高めるための援助を行う。
4. 慢性期患者への看護とその役割を理解する。
5. 実習における学習過程を通して、自己の倫理観・看護観を身につける。

授業方法・形式

臨地実習

授業計画

3週間の臨地実習

* 詳細は成人看護学実習要項で示す。

成績評価の基準

1. 5分の4以上出席があり、実習記録物が期限内に提出した者について評価を行う。
2. 実習要項の評価表に基づいて評価する。

授業時間外の課題

1. 実習前・中の学習課題に沿って行う。

メッセージ

1. 実習に際しては、実習要項・ガイダンスに出席すること。
2. 十分な事前学習を行った上で実習に臨むこと

教材・教科書

特に定めなし。

参考書

必要に応じ適宜紹介する。